

情報活用能力系統表(低学年)

【情報活用能力】

世の中の様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、情報及び情報技術を適切かつ効果的に活用して、問題を発見・解決したり自分の考えを形成したりしていくために必要な資質・能力(小学校学習指導要領解説 総則編)

A 知識及び	B 思考力、判断力、表現力	C 学びに向かう力・人間性等
(ア) 図書から情報を集める	(ア) 絵や写真を並び替えるなどの操作をして情報を整理する	(ア) 身の回りには間違っただ情報やうその情報があることを知り、それらを適切に取扱おうとする
(イ) 人に質問して情報を集める	(イ) 大切な言葉、文章を付箋やカードなどに書き出して整理する	(イ) 電話番号などの個人情報が悪用される危険性があることを知り、自分や他人の個人情報を大切にす
(ウ) 実物を見たり触ったりするなどの体験を通して情報を集める	(ウ) 取り出した情報をもとに、図やグラフなどに整理する	(ウ) 自分たちの身の回りの情報機器に親しみ、すすんで利用しようとする
(エ) 手紙を書いて情報を集める	(エ) はじめ、中、おわりの構成を考えて伝えたいことをまとめる	(エ) コンピュータなどを利用するときの基本的なルールを守って行動しようとする
(オ) 数を数えたり、計測したりして情報を集める	(オ) 絵や文章、写真などを組み合わせ、対応させながらまとめる	
(カ) デジタルカメラやタブレットなどで写真を撮影する	(カ) 順序を表す言葉を用いてまとめる	
(キ) 問題の解決には必要な手順があることが分かる	(キ) 実物を見せながら表現する	
(ク) コンピュータなどを利用するときの基本的なルールが分かる	(ク) 実物投影機などのICT機器を活用して表現する	
	(ケ) 伝えたいことを明確にして、それを意識して表現する	
	(コ) 事柄の順序に沿って構成を考える	

【考えるための技法】

- 【順序付ける】複数の対象について、ある視点や条件に沿って対象を並び替える
 - 【比較する】複数の対象について、ある視点から共通点や相違点を明らかにする
 - 【分類する】複数の対象について、ある視点から共通点のあるもの同士をまとめる
 - 【抽象化する(一般化する、統合する)】対象に関する上位概念や法則を挙げたり、複数の対象を一つにまとめたりする
 - 【関連付ける】複数の対象がどのような関係にあるかを見付ける ある対象に関係するものを見付けて増やしていく
 - 【多面的に見る・多角的に見る】対象のもつ複数の性質に着目したり、対象を異なる複数の角度から捉えたりする
 - 【具体化する(個別化する、分解する)】対象に関する上位概念・規則に当てはまる具体例を挙げたり、対象を構成する下位概念や要素に分けたりする
 - 【構造化する】考えを構造的(網構造・層構造など)に整理する
 - 【理由付ける(原因や根拠を見付ける)】対象の理由や原因、根拠を見付けたり予想したりする
 - 【見通す(結果を予想する)】見通しを立てる。物事の結果を予想する
- ※発達段階に応じて活用したり、各教科等の学習において適切に発揮したりするようにする(詳細は小学校学習指導要領解説 総合的な学習の時間編P80～)